

- Q、再編、統廃合という説明があり、公共施設も古くなってきている中で、少子化で小学校の空き教室を利用するという案はないのか。
- A、四日市市は廃校になった小学校を改築し、認定こども園の運営をしている状況があり、視察にも行ってきた。松阪市でもどうかと考えるのも一つの方法である。まだ、市内の小学校はあいていない状況ではある。小学校の生徒がいながら、保育園児が生活するという事は、様々なことを考える必要がある。廃校という状況ならまた、違う。また、建設ありきという考えだけではないが、まとまった土地の確保が必要になってくる。土地の確保ということができればなら少しでも早くということになる。遠くに通うのではなく、地域にあった園を考えていきたい。私立保育園の近隣に建設することはないようにすすめていく。
- Q、保育をする環境の例として、老人福祉施設と隣接するところが多く、人が集まるといふ利点もあるが、その方向性はあるのか。
- A、私立保育園は、同じ社会福祉法人が運営しているといふことで、老人福祉施設が隣接する場合もあるが、公立保育園としては難しいのではないかと。
- Q、園児数の推移をみて、春日保育園の定員増ときいているが、公立保育園を統廃合した場合の適正な園児数はあるのか。
- A、春日保育園は 130 人定員から、200 人の増員を考えている。
さくら保育園は 320 人定員で保育士が 50～60 人ほどになる。
市として、180～200 人定員が適正かと思っているが、きっちりと出るものではない。
- Q、広くて、新しくて、大きい方がいいかのように言われているが、現在、第二保育園がいいと思って通わせている。5 歳児 30 人を保育士 2 人でしっかりと見てくれるから通わせている。市は保育園、一つひとつのいいところをみているのか。新しいことだけがいいのではない。他の保育園をまとめたりしたところで、保育士不足があり、統合してどう解決できるのか。
- A、新しい保育園、古い保育園ではなく、ここだから来てくれている方がいると感じた。第二保育園は民営化の対象にもなっていた経過がある。1, 2 年後のことではなく、また、保護者の方々の意見を伺いたい。
- Q、西保育園が新しく建設されたが駐車場が足りないと言われた。他に新しく建設をした後、後々、どういう問題がでてきたかということを知りたい。春日保育園の新設の話子どもにすると、思い出がよみがえってくるようでいろいろな話をした。思い出

のつまった園舎を大切にしてほしいという思いもある。

A、今、西保育園で駐車場のこと以外は聞いていない。やまなみ保育園も5つの飯高の統廃合をした経過がある。古い園舎もいいこともわかるが、時代や園児数のこともあり、統廃合も考えてきた。

Q、春日保育園は今、設計中であり、駐車場も気をつけてもらっている。

地域の方の協力があってだと思ふ。そこを忘れずに進めてほしい。

A、地域の方々には感謝の思いでいっぱいである。

Q、松阪公民館が、マームへ移転したが、保育園移転の考え方としては、選択の一つにあるのか。

A、保育園の園児は、幼稚園の園児(幼児)と違い、乳児がいることや、自園調理の給食の衛生面のこともある。また、施設の中で、子ども一人当たりのスペースが決まっていて、0歳児にはほふく室も必要である。小学校へとなれば、大改造も必要となる。12月9日に幸地区の自治会長に概要をお示しさせていただいたことから、今日を迎えた。また、ご意見がありましたら、自治会長、園長に申し出ていただきたい。